

製品名: AURKA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81883**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	45.8kDa

抗原情報

遺伝子名	AURKA
別名	AIK; ARK1; AURA; BTAK; STK6; STK7; STK15; PPP1R47
遺伝子 ID	6790.0
SwissProt ID	O14965
免疫原	大腸菌で発現したヒト AURKA (AA: 268-404) の精製された組み換え断片。

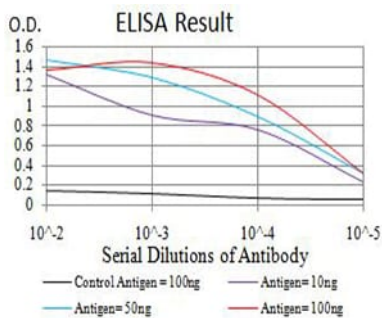
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞周期制御性キナーゼであり、染色体分離中の紡錘体極における微小管形成および/または安定化に関与していると考えられます。コードされているタンパク質は、間期細胞では中心体、有糸分裂では紡錘体極に

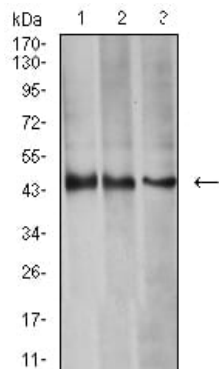
存在します。この遺伝子は、腫瘍の発生および進行に関与している可能性があります。この遺伝子のプロセスされた擬似遺伝子は 1 番染色体上に、プロセスされていない擬似遺伝子は 10 番染色体上に存在しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

研究分野

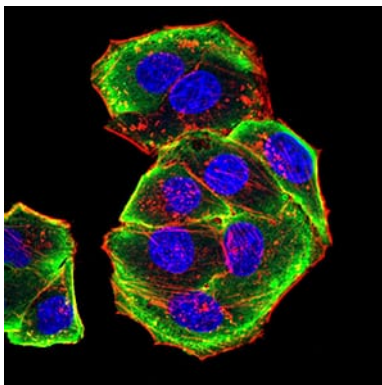
画像データ



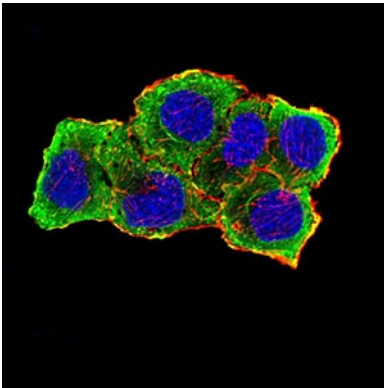
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



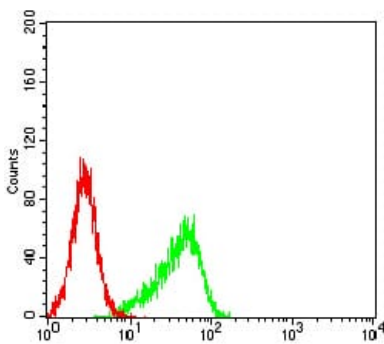
HEK293 (1)、MCF-7 (2)、および HeLa (3) 細胞溶解物に対する AURKA マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



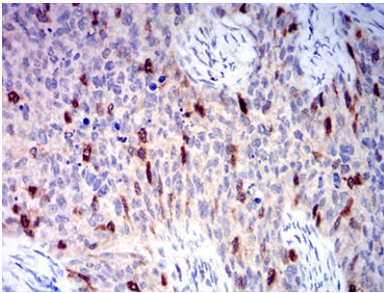
AURKA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



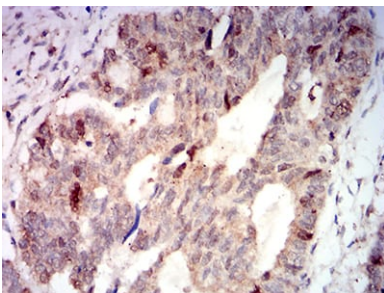
AURKA マウス mAb (緑) を用いた SMMC-7721 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



AURKA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



AURKA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



AURKA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。